

順 番	質問者	質問事項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1	第10番 丸山 和之	子育て支援施設と塩の道の拡幅について	3月の定例会において、子育て支援施設の計画方針が示されました。その計画方針について総務社会委員会の中で、意見交換を行いました。様々な考えはあると思いますが、より良いものを作りたいという考えは共通していると感じます。新しい子育て支援施設で大切に考えるべきことは、地域の皆さんと子どもたちとその子育てする親たちが関わっていけるような環境がある施設と考えます。 また、新しくできる施設へのアクセスについては、現状の形では狭く、安全面を考えても、利便性という点でも決して良いものではありません。今年のような大雪となった場合は、車同士のすれ違いも難しく、通学路として使っている子どもや買い物へ歩いていく高齢者にとっては危険を感じるという話も親や道路沿いの方からお聞きます。 塩の道（千国街道）という歴史的なものをしっかりと保存していくという意味でも整備、拡幅は必要になってくると考えます。 そこで次のことについてお伺いします。 (1) 新しい子育て支援施設のテーマと役割とは何か、改めてお伺いします。 (2) 将来的には施設周辺には公園整備などお考えだが、公園からのロケーションは村民が集うのに相応しい環境になると考えるが、その環境を築くためにも計画的に西側土地の取得をしていくべきものとするが、その見通しについてお伺いします。 (3) 当初は図書館との複合施設として始まったが、それぞれ分けて考えるということとなり、子育て支援施設を優先し、今回その計画方針となったが、この新施設と八方池山荘建替えと大きな事業を抱えていて、次に学校施設の課題がある中で、図書館の施設建設は難しいものとするが、その見通しについてお伺いします。 (4) 新施設へのアクセスを考えた時、現状では安全面や利便性という点からも良いものではないし、せっかく良いものができたとしても行きづらいでは意味のないものになってしまうと考えるが、将来的に道路拡幅も含めどのように整備し行くのか、現時点でのお考えをお伺いします。	村 長

順 番	質問者	質問事項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1	第10番 丸山 和之	子育て支援施設と塩の道の拡幅について	(5) 塩の道(千国街道)は、今の人たちが先人たちの暮らしを感じるという面でも、歴史的な財産としても魅力あるものだと思います。また、観光という面からも価値のあるものと思います。将来的に人々が安全に歩ける歴史的な街道として広域的に整備するような構想について、お考えはあるか伺います。	村 長
2	第7番 切久保 達也	1. 環境基本条例について	令和4年度に提案された白馬村環境基本条例の改正案は、理念条例として環境に対する村の基本姿勢を明示するものであり、私はその意義を認め賛成討論を行いました。しかし、本会議では計画の不在や住民理解の不足を理由に否決されました。これを受けて、今後の村の環境政策のあり方と条例再提出の可能性について伺います。 1. 令和4年度の環境基本条例改正案が否決されたことを受けて、村としてその要因をどのように総括されましたか。また、改正案は理念条例として、環境に対する村の基本姿勢を内外に示す意義がありましたが、理念条例が無い中で村政運営の影響はなかったのか伺います。 2. 環境基本計画と個別計画の役割分担について、「既存の個別計画で対応可能」との答弁がありましたが、一方で反対討論では「環境基本条例と環境基本計画は一体であるべき」との指摘もありました。個別計画の限界と、包括的な計画としての環境基本計画の必要性について、村としての見解を伺います。 3. 気候変動対策への村の具体的な対応について、気温上昇の抑制、ゼロカーボンの取組等について、理念だけではなく実効性ある施策が求められています。例えば広域ごみ処理計画の中での、白馬村の進捗状況など既存の取組の現状と進捗、さらに今後の追加施策の検討状況を伺います。 4. 理念条例としての意義と再提案の可能性について、改正案は理念条例として、環境に対する村の基本姿勢を内外に示す意義がありましたが。行政側からも「今の時代に即したつもり」「環境に対する基本的な姿勢をうたい込んだ」と答弁がありました。再度条例の意義を見直し、修正を加えた上で再提案する考えはないのか伺います。	村 長

順 番	質問者	質問事項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
2	第7番 切久保 達也	2. 姉妹・友好都市交流の実効性と今後の展開について	白馬村は、国内では静岡県河津町、和歌山県太地町、国外ではドイツ・オーバーヴィーゼンタール市、オーストリア・レッヒ村と、それぞれ姉妹都市または友好都市として関係を築いてきました。これらの交流は、国際理解の促進、青少年の育成、観光振興、さらには他地域からの知見を福祉やまちづくりに活かすなど、多岐にわたる目的のもとに行われているものと理解しています。特に近年は、グローバル化やインバウンドによる観光産業の変化、人口減少・高齢化など、村を取り巻く環境が大きく変化する中で、これらの交流関係を単なる儀礼的な枠を超え、地域課題の解決に役立つ実質的な取り組みへと進化させることが求められているのではないのでしょうか。そこで、姉妹・友好都市との交流事業について、その成果をどのように村政へと活かしているのか、また今後どのような広がりを持たせることができるのか、見解をお伺いしたいと思います。 1. 交流事業の成果評価について、白馬村は国内外4都市との姉妹・友好都市交流を行っていますが、これまでの事業から得られた具体的な成果や効果について、どのように評価されているのか。交流を通じて得たノウハウが村政や地域づくりにどのように活かされているのか、定量的・定性的な観点でお聞かせください。 2. 教育的価値とその波及効果について、姉妹都市との青少年交流事業が毎年行われていますが、実施後にその学習効果や人格形成への影響をどのように検証しているのか。アンケートや保護者・学校との連携によるフォローアップの仕組みはあるのか伺います。 3. 国際的な観光資源としての交流関係の活用について、レッヒやオーバーヴィーゼンタールとの交流を、白馬村の観光ブランディングや誘客施策にどう活かしているのか。海外でのプロモーションや観光フェアへの共同出展などの実績・構想について伺います。	村 長 教育長

順 番	質問者	質問事項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
3	第3番 鈴木 均	1. 公共交通とりわけデマンドタクシーについて	今年3月に「白馬村地域公共交通計画」が発表され、同じく3月に発表された総合計画策定のための村民アンケート集計では、公共交通について「重要」「やや重要」と答えたのが合計84.3%に対し、「満足」「やや満足」あわせて11.7%、「不満」「やや不満」あわせて49.7%。公共交通については半数が不満であることがうかがえます。そこで以下、質問いたします。 ①村民への広報は、運行開始前に「広報はくば」に掲載されただけで、全世帯へのパンフレットはいまなお配布されていません。現在は、A5サイズの小さいプリント印刷が健康福祉課の見えない所においてあって、要求すればもらえるしくみです。全世帯へのわかりやすいパンフレットの配布計画はありますか。 ②デマンドタクシーで他の自治体では半額等の割引がありますが、白馬村はバスのような半額割引はできないと説明されてきました。その法的根拠はありますか。 ③大町病院へ行けるように、大町市の「ふれあい号」との接続は検討したことがありますか。 ④ナイトデマンドタクシーからAⅠに関連して「ふれAⅠ号」の運行は観光課になっていますが、手続きの中身によって健康福祉課・社会福祉協議会、総務課に分かれて、住民にはわかりづらいという声があります。またふれAⅠ号がなぜ観光課なのかとの疑問も根強く、手続き窓口を一本化できませんか。免許返納者への回数券の間違いも担当窓口が複数になっていることが一つの原因です。	村 長
3	第3番 鈴木 均	2. 今冬 2024-25 の(風)雪害: 安全・安心の村づくりについて	①この冬は例年にない大雪で、しかも日本海の海水温が高く、ほぼシーズン中重い雪が積もり、道路・家屋への倒木とそれによる停電などの雪害が多かったが、被害の実態把握をしていますか。人的被害、建物被害とその内容と件数をお聞きます。 ②5月になっても家や屋根が崩れた状態で生活されているご家庭も村内にはあります。雪害も台風や地震と同じく自然災害ですが、被害基準がありますか、また被害への見舞（補償）支援制度はありますか。	村 長

順 番	質問者	質問事項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
3	第3番 鈴木 均	2. 今冬 2024-25 の(風)雪害: 安全・安心の村づくりについて	③自然災害の被災にあった場合、固定資産税・所得税等の一部控除がありますが、今回の雪害に対しては適用されますか。 ④白馬村には「特別豪雪地帯住宅除雪支援事業」の制度がありますが、今シーズン何件の申請があり、のべ何時間でしたか。	村 長
4	第8番 伊藤 まゆみ	1. 「持続可能」について 2. 副村長について 3 議員の成り手不足について	村長がよく「持続可能」という言葉を挨拶等に盛り込まれていますが、村長が描いている持続可能な白馬村のビジョンを伺います。 副村長を2名体制にすべく昨年度公募しましたが、2名必要という判断に至った経緯を伺います。 この4月に行われた村議会議員選挙は定員不足になってしまいました。議員のなり手不足はこの村だけにとどまらず、全国的な問題だと考えます。私の父が白馬村議会議員をしていたころは定数が16名であり、40代や50代が多かったと記憶しております。農家を含め、自営業の減少という社会構造の変化が大きな要因と考えますが、行政はこのような状態をどのようにお考えですか。	村 長 村 長 村 長
5	第5番 酒井 洋	持続可能な社会基盤の維持管理・更新について	道路、橋梁、鉄道、上下水道、電力網やガス供給といった社会基盤（インフラ）は、社会や生活を支える重要な要素です。 今年、埼玉県八潮市で発生した重大な事故を始め、いたるところで老朽化が原因と思われる事故が発生し、社会基盤の老朽化は日本全国で深刻な課題となっています。高度経済成長期に整備されたインフラは既に50年以上が経過し、適切な維持管理や更新の必要性が高まっています。本村においても同様であり、地域社会の持続可能性や安全性を高め、次世代により良い環境を引き継ぐためには計画的な維持管理と適切な対策が必要です。 そこで、今回は建設課、農政課、上下水道課所管の道路、橋梁、上下水道施設等の維持管理・更新事業について、ヒト（人材）・カネ（資金財源）・モノ（物的資源）の観点から効果的に活用するための取組について お伺いいたします。	村 長

順 番	質問者	質問事項	質 問 の 要 旨	答弁者
5	第5番 酒井 洋	持続可能な 社会基盤の維 持管理・更新に ついて	1) 人材育成と研修・教育について伺いますが、専門的な技術や知識を持つ人材の採用と育成の方針について伺います。 2) 除雪担当や水道維持担当等の職員においては不測の事態には休日や夜中であっても出動し対応いたしますが、これらの労働環境の改善についてお考えをお聞かせください。 3) 維持管理の経費縮減には地域住民の協力と参加が必要と考えますが、住民参加の方策はありますでしょうか。 4) 効率的な予算配分が必要なことは理解していますが、資金調達について考えをお聞かせください。また長期的な財政計画は何年先を見据えていますでしょうか。 5) インフラ設備の維持・管理のために、再生可能エネルギーの利用やリサイクル等の効率的利用例とデジタル技術を活用するご予定はありますでしょうか。	村 長